



2024年4月26日

各 位

会 社 名 野崎印刷紙業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野崎 隆男  
(コード番号:7919 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理部長 仲本 和宏  
(TEL : 075-441-6965)

## 剰余金の配当及び配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当及び2025年3月期から2027年3月期までの3か年の配当方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 剰余金の配当について

##### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年4月28日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基 準 日	2024年3月31日	2024年3月31日	2023年3月31日
1株当たりの配当金	5円00銭	3円00銭	3円00銭
配 当 金 の 総 額	84百万円	—	52百万円
効 力 発 生 日	2024年6月7日	—	2023年6月8日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

##### (2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして認識し、業績、配当性向、内部留保等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続して行うこととしております。この方針のもと2024年3月期の決算状況を踏まえ、前回予想の1株あたり3円から、2円増配した5円を当期末の配当金といたします。

なお、2025年3月期から2027年3月期までの3か年においては、配当方針を変更し、配当性向20%以上を目指すこととしております。

## 2. 配当方針の変更

### (1) 変更の理由

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現と中長期的な企業価値の向上を目指した中期経営計画「nozaki2024/2026 “SHINKA”」を本日発表いたしました。この中期経営計画においては、重要な経営指標の1つとしてROE目標を掲げており、資本効率の向上に資する株主還元についても一層の充実を図るため、中期経営計画期間（2025年3月期-2027年3月期）においては、安定的かつ持続的な配当の実施と株価形成に繋げていくことを目的として、連結配当性向と連結株主資本配当率(DOE)を目安とした配当方針に変更することといたしました。

また、2025年3月期における配当については、中間配当と期末配当の年2回を予定しております。

### (2) 変更内容

変更前	変更後
<p>当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして認識し、業績、配当性向、内部留保等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。又、キャッシュ・フローの状況に応じた自己株式の取得など機動的な施策を講じ、総合的な株主還元策を行っていきたいと考えております。内部留保につきましては、将来の事業展開のための設備投資資金や製品の企画開発資金などに活用し、事業の拡大に努めてまいります。</p>	<p>当社は、持続的な企業価値の向上と株主の皆様に対する利益還元の双方を、重要な経営課題として認識し、事業拡大や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、当社を取り巻く事業環境を勘案し、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。</p> <p>2025年3月期から2027年3月期までの3か年については、中期経営計画に基づく資本効率向上の観点から「連結株主資本配当率1.5%」を下限に設定し、「連結配当性向20%以上」を目標とする、より安定的で高水準な配当を実施する方針です。</p> <p>自己株式の取得・償却については、資本効率の向上及び経営環境の状況に応じ、機動的な資本政策による総合的な株主還元策を、適切に実施してまいります。</p>

### (3) 変更時期

2025年3月期より適用いたします。

(2024年3月期配当につきましては、「1. 剰余金の配当について」にて記載のとおり5円といたします。)

以上